



やまだ ひでお 議員  
山田日出夫

コロナ禍の閉塞感を  
なんとか破りたい!

# 問 町の会議や申請受付の見直しは

## 町長 行財政改革の会議で前向きに検討

**基礎自治体はコロナにどう向き合つか**

**問**基礎自治体としてコロナ感染症に対する現状および今後の認識は。  
**答**国や道の各種対策との連携および町独自の支援策を講じてきた。

ワクチン接種を最優先に必要な支援策や町民生活への影響を見据えた対策を検討したい。  
**64歳以下のワクチン接種はどうなるか**

**問**今後のワクチン接種の予定と課題はなにか。  
**答**5月16日から75歳以上の、5月30日から65歳以上の方への接種を開始し順調に進んでい

る。6月14日、16歳から64歳の方、基礎疾患がある方の優先予約も設け接種券を発送した。6月末から接種が可能で順調にワクチン確保ができれば11月中には完了予定だ。

接種対象が12歳に引き下げられた点は慎重に検討を進めたい。

**問**消防職員、こども園・児童館職員、接種従事職員、教職員に優先接種をすべきでは。  
**答**消防と従事職員は実施した。こども園などは優先接種を検討中だ。



同じ申請を毎年しなくて済むよう見直しを

は優先接種を検討中だ。  
**問**未接種の高齢者が希望したら接種できるか。  
**答**個別に接種できる。

は進んでいない。経費などの課題もあり今後の検討課題である。  
**問**一部の会議を除き議案の事前配布、意見聴取、結果報告などで非招集開催できるはず。

**最大限守りたい子どもの学ぶ権利**  
**問**コロナ禍での子どもたちの学ぶ権利の尊重についての認識は。  
**答**昨年の約1月半の休校で学力、成長、心身の健康を保障する役割が学校にあることが再確認され、一律の休校は避けつつ健やかな学びの保障に努めたい。

**問**会議開催や申請事務の見直しをすべきでは。

福祉事業やコロナ支援などの申請も2回目からは「不要な方は申し出し、原則は申請とみなす」ことが可能だ。

**問**孤立しやすい高齢者の独居・二人世帯への生活支援は。

**問**緊急事態宣言下で町の会議は原則中止か延期としているが、コロナ終息後は開催したい。

窓口サービスはさまざまな感染予防策で対応中だ。オンラインなど非接触型申請の導入

**問**近く行財政改革検討の場があるので、会議と申請事務見直しの提案は検討したい。

窓口サービスはさまざまな感染予防策で対応中だ。オンラインなど非接触型申請の導入

が学校にあることが再確認され、一律の休校は避けつつ健やかな学びの保障に努めたい。

**問**孤立しやすい高齢者の独居・二人世帯への生活支援は。

窓口サービスはさまざまな感染予防策で対応中だ。オンラインなど非接触型申請の導入

が学校にあることが再確認され、一律の休校は避けつつ健やかな学びの保障に努めたい。

**問**孤立しやすい高齢者の独居・二人世帯への生活支援は。

窓口サービスはさまざまな感染予防策で対応中だ。オンラインなど非接触型申請の導入

が学校にあることが再確認され、一律の休校は避けつつ健やかな学びの保障に努めたい。

**問**孤立しやすい高齢者の独居・二人世帯への生活支援は。

窓口サービスはさまざまな感染予防策で対応中だ。オンラインなど非接触型申請の導入

が学校にあることが再確認され、一律の休校は避けつつ健やかな学びの保障に努めたい。

**問**孤立しやすい高齢者の独居・二人世帯への生活支援は。

窓口サービスはさまざまな感染予防策で対応中だ。オンラインなど非接触型申請の導入

が学校にあることが再確認され、一律の休校は避けつつ健やかな学びの保障に努めたい。

**問**孤立しやすい高齢者の独居・二人世帯への生活支援は。

窓口サービスはさまざまな感染予防策で対応中だ。オンラインなど非接触型申請の導入

が学校にあることが再確認され、一律の休校は避けつつ健やかな学びの保障に努めたい。

**問**孤立しやすい高齢者の独居・二人世帯への生活支援は。



こちらから山田議員の一般質問を視聴できます